横浜市港北区社会福祉協議会　港北区ボランティアセンター通信

ふくしのまど

１１８号

皆さまは、地域で行われている子育てサロンや子ども食堂、高齢者の方向けの会食会やサロンなどに参加したことはありますか？　お祭りや移動動物園などのイベントなら行ったことがある！という方もいらっしゃるのではないでしょうか。　地域の活動や行事は助成金で支えられていることが多く、今号では、『港北ふれあい助成金・みんなの助成金』の配分を受けて活動している団体を紹介します。

～皆さまからのご寄付で支えられています～

港北区ふれあい助成金・みんなの助成金

『港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金』（以下、ふれあい助成金）は、寄付金を財源として、より豊かな市民社会の実現のために、市民の自発性のもと、横浜市内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業の支援を目的として実施する助成金です。

樽町なごみ食堂



樽町なごみ食堂は、子どもから高齢者まで誰でも参加できる**地域食堂**です。地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」の話し合いをきっかけに生まれ、多世代が集える場として活動を続けています。なごみ食堂には高齢者の参加も多く、「子どもたちから元気をもらえる」といった声も聞かれるとのこと、参加者同士が声をかけあって集まり、食事を囲みながら自然と交流が生まれています。

団体では、ふれあい助成金を消耗品の購入やボランティアへの活動費支給などに活用しています。





【代表の横溝和子さん】区社協から配分されている助成金なので、安心して活用しています。ボランティアの方へ活動費をお渡しできることで協力をお願いしやすくなり、活動の幅が広がりました。また、野球を頑張る子どもから「なごみ食堂のカレーで元気をもらった！」と言われたことが印象に残っています。

誰でも安心して集える居場所づくりを応援しているふれあい助成金は、地域のつながりづくりも支えているんだね。



港北区手話サークル　あじさいの会







今年で活動42年目を迎える「港北区手話サークル　あじさいの会」は、手話を学びたい人や聴覚障害のある人、手話通訳者を目指す人など、さまざまな人が集う**手話サークル**です。毎月の学習会や講演会を通じて、手話を楽しく学びながら交流を深めています。

団体では、ふれあい助成金を主に講師への謝礼として活用しています。招くことができる講師の幅が広がり、学習会や講演会がより充実した内容で実施できるようになりました。また、クラス別学習会にも講師を迎えられるようになり、有意義な学びの機会となっています。そして、手話だけではなく生活や文化などを学ぶ機会も増え参加者の学習意欲の向上にもつながっているなど、ふれあい助成金は、手話を通じた地域のつながりづくりと学びの場を支えています。

【代表の山本悦子さん】あじさいの会が大切にしているのは、「楽しく」活動することです。障害のある人を支援するためだけではなく、一つのコミュニケーション方法として手話を学び、お互いに交流することが大切です。



ボランティアサークル「まごの手」

ボランティアサークル「まごの手」は、高田地域で一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、障害のある方を対象に、庭の手入れや室内清掃、買い物・通院の付き添い、ケアプラザへの付き添い送迎などの**生活支援活動**を行っています。地域の困りごとを地域で支える「助け合いのまち高田」を目指して活動を続けています。

ふれあい助成金は、庭の手入れ用具の購入費やスタッフへの活動費、定例会議資料の印刷費などに活用されています。

まごの手は有償ボランティアとして活動していますが、会計面に余裕がないことが課題でした。助成金を活用できるようになったことで、活動を安定して継続できるようになり、スタッフへの活動費の支給によるモチベーション向上にもつながっているそうです。円滑な活動が可能になったことで、地域の生活支援活動への貢献の幅とともに、活動への信頼も着実に広がっています。





【代表の松山達也さん】庭の手入れは、毎年継続して依頼される利用者が多いです。また、ケアプラザの催し物への付き添い送迎活動では、参加者から「誘ってくれてありがとう」と感謝の言葉をいただき、笑顔で楽しんだことが伝わってきます。現在は、スタッフ不足などの課題もありますが、「依頼者もスタッフも笑顔になれる活動」をモットーに、これからも地域の支え合いの輪を広げていきます。



庭の手入れはとっても大変だけど、ふれあい助成金が活動を支えているんだね！

ふれあい助成金の財源は？



『港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金』は、皆さまからお寄せいただいた**赤い羽根共同募金**や**年末たすけあい募金**の配分金、**善意銀行**への寄付金を財源としています。令和８年度は、港北区内の１８０団体へ助成金を配分することができました。これからも、地域の福祉活動を応援していくため、皆さまのあたたかいご協力をお願いいたします。

善意銀行へご寄付いただきありがとうございます



（寄託　令和８年２月１日～令和８年９月30日）

横浜日吉ロータリークラブ／港北区ダンススポーツ連盟／中沢 文明／小さな森の家／株式会社横浜アリーナ／横浜ひかりライオンズクラブ／横浜市港北区仏教会／港北芸能協会／ゆとりのカラオケ／株式会社ティアーズ／フラ港北レフア／佐藤和子とキルトばすけっとの会／ユニー株式会社 “小さな善意で大きな愛の輪”運動 アピタ横浜綱島店／港北三曲会／株式会社くらしの友 横浜営業所／ユニプレス株式会社／齋藤 寛子／山本 律子／匿名団体／匿名個人（順不同、敬称略）

問合せ　社会福祉法人　横浜市港北区社会福祉協議会　港北区ボランティアセンター

〒222-0032　横浜市港北区大豆戸町１３－１　吉田ビル２０６
電話：０４５－５４７－２３２４　／　FAX：０４５－５３１－９５６１
（月曜日～土曜日　９時～１７時）
メール：hokuhoku@kouhoku-shakyo.jp

公式LINEへの登録はコチラから

地区の活動紹介はコチラから

「ふくしのまど」は共同募金配分金の一部を活用して発行しています

2026年11月発行